

## 第14回 鈴鹿市議会 議会報告会 実施結果



- 1 日 時 令和7年2月2日（日） 13:30～15:30
- 2 場 所 鈴鹿医療科学大学白子キャンパス1号館1701講義室
- 3 対 象 大学生を中心とした若者世代
- 4 参加人数 40人（鈴鹿医療科学大学18人、鈴鹿大学20人、四日市大学1人、その他の大学1人）
- 5 出席議員 24人

議長	池上 茂樹		
副議長	桐生 常朗		
作業班班長	田中 淳一		
作業班副班長	松葉谷光由		
議員 (議席番号順)	加藤 公友	曾我 正彦	藤井 栄治
	矢田真佐美	山中 智博	河尻 浩一
	船間 涼子	石田 秀三	高橋さつき
	田中 通	市川 昇	大杉 吉包
	山口 善之	水谷 進	藤浪 清司
	市川 哲夫	藪田 啓介	中西 大輔
	宮木 健	野間 芳実	—

### 6 開催概要

鈴鹿市総合計画 2031 がめざす将来都市像「ひとつつながり DXで未来を拓く #最高に住みやすいまち鈴鹿」を実現するために、大学生を中心とした若者世代を対象に「鈴鹿の現在と未来について語ろう～住みやすいまち・住み続けたいまちとは～」をテーマに、議員とのワークショップ（意見交換会）を実施しました。

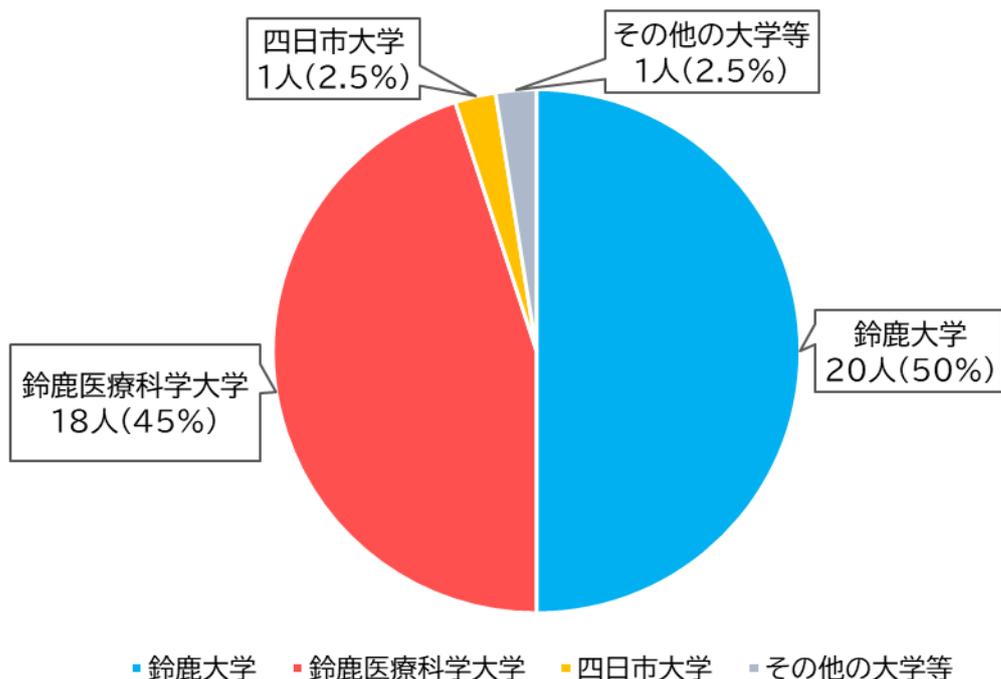
## (1)当日のスケジュール

13:30	議会報告会開始・はじまりのあいさつ・議員の紹介
13:40	市議会について・鈴鹿市の基礎知識とワークショップルール説明(議員による手作り動画映写)
13:55	ワークショップ(班別自己紹介、意見交換、グループ発表)
15:25	おわりのあいさつ
15:30	集合写真撮影

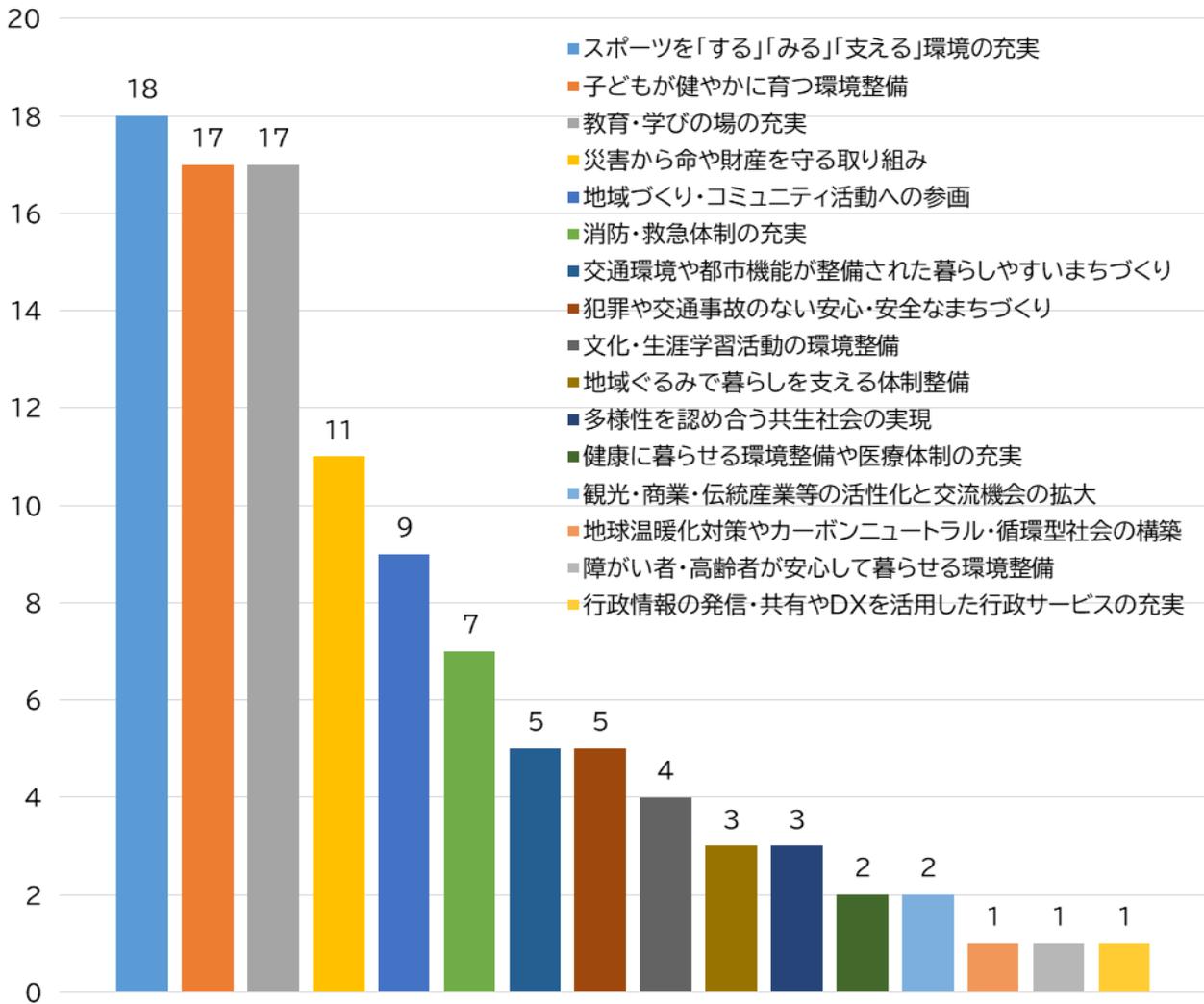
## (2)申込時アンケートの活用

大学生を中心にした若者世代の方に、参加申込みにあたり、在籍校や話し合いたい興味関心があるテーマについてアンケートを行いました。その結果から、申込者の興味関心に沿ってワークショップのテーマ設定及び8つのグループ編成を行い、鈴鹿市の良いところ・足りないところや、未来の姿について語り合いました。

参加申込者の在籍校等



## 参加申込者の関心のあるテーマ



### (3)参加申込時点での意見について

参加申込みあたり、ワークショップ（意見交換会）で話し合いたい内容や事前質問などを伺った結果、出された意見等は次のとおりでした。

- ・無料もしくは50円や100円で利用出来る新しいウエイトトレーニングルームを市で配置し、高齢者から若者の幅広い人たちへの健康問題を解決し、寿命を伸ばす
- ・地域の人のために安く利用できるウエイトトレーニング場について
- ・日本の友達を作りたいです。
- ・自分が住んでいて半々ぐらいで住みやすい住みにくいと感じる。
- ・鈴亀地区の小児科医数について
- ・大学周辺にもっと色々な施設、公共交通機関があると良い

#### (4)ワークショップのグループ別テーマ等設定

アンケート結果をもとに、次のようにテーマ設定、グループ編成を行い、ワークショップを開催しました。

グループ	テーマ	参加人数	担当議員
1	①子どもが健やかに育つ環境整備 ②教育・学びの場の充実	6	中西大輔 松葉谷光由
2	①子どもが健やかに育つ環境整備 ②スポーツを「する」「みる」「支える」環境の充実	5	野間芳実 宮木 健 曾我正彦
3	①子どもが健やかに育つ環境整備 ②スポーツを「する」「みる」「支える」環境の充実	5	大杉吉包 山口善之 田中 通
4	①子どもが健やかに育つ環境整備 ②多様性を認め合う共生社会の実現	4	藪田啓介 藤浪清司 高橋さつき
5	①教育・学びの場の充実 ②スポーツを「する」「みる」「支える」環境の充実	5	市川哲夫 河尻浩一 藤井栄治
6	①消防・救急体制の充実 ②交通環境や都市機能が整備された暮らしやすいまちづくり	5	船間涼子 加藤公友
7	①教育・学びの場の充実 ②地域づくり・コミュニティ活動への参画	5	水谷 進 山中智博 矢田真佐美
8	①災害から命や財産を守る取り組み ②地域づくり・コミュニティ活動への参画	5	石田秀三 桐生常朗 市川 昇

※議長及び作業班班長はワークショップには参加していません。

#### 7 ワークショップ(意見交換会)での主な意見

##### ■1グループ

【テーマ:①子どもが健やかに育つ環境整備 ②教育・学びの場の充実】

- ・行政の介入により、鈴鹿中央病院と回生病院の救急に派遣してくれる小児科医数を増やす必要がある。
- ・小学校と地域の小児科との連携は必須である。そういうところに行政が関与して、やりやすい環境であったり、状況や情報がいち早くわかるようなつながりを作ってほしい。教育の面では虐待とかも重要な問題だと思う。小児科でアザを発見して通報に至ることも結構

あるので、学校との連携も含め、そういうところを協力してやることで、虐待の防止にもつながるのではないかな。

- ・小児科医確保のために、学生の時代から支援するなどの囲い込みも必要なのではないかな。
- ・夜間専門の小児科病院を作ってはどうか。
- ・子どもの心は体の症状と繋がっていると思うので、福祉の面に繋がりをを持たせて、小児と医療を直結させるのではなく、その間に、児童相談所や保健所などとの連携を強化して相談ができるようなシステムを整えば良いのではないかな。
- ・道路が良くなく、危ない場所が多い。高齢者の運転技術の関係もあるので、もっと考えた方が良い。
- ・中央道路沿いにはカラオケ、遊ぶ場所、図書館などの集まる場所があるが、大学周辺や国道 23 号の方にはない。店舗も近鉄沿線ではないところに多くがあり、バスの便も悪い。こういった場所は歌うだけではなく、雑談したりとか、勉強したりもするので、気軽に行ける場所を作してほしい。大学周辺は構造的に噛み合っていない感じがする。
- ・鈴鹿大学までの交通の便も悪い。白子駅を拠点にして、そこから大学や大型ショッピングセンター等までのバスのルートを作ったら良いのではないかな。
- ・鈴鹿市は年齢層が高いわりにタクシーが捕まらない。タクシーとか福祉タクシーみたいなのが充実してないと駄目だと思うが、明らかに少ない印象がある。
- ・三重県と鈴鹿市の子ども条例の策定が同時期なので、繋がりという面を考えると、県条例が出てからの方が良かったのではないかな。
- ・千代崎駅周辺とフジクラ周辺は防犯灯や街路灯が少なく、暗くて歩くのが怖い。

## ■2グループ

【テーマ:①子どもが健やかに育つ環境整備 ②スポーツを「する」「みる」「支える」環境の充実】

- ・大学で部活をしており、しっかり運動したいと考えているが、練習環境が少ないので市全体として運動環境の向上を図ってほしい。
- ・部活では、水球やウエイトリフティング、ソフトボールなどが盛んであるが、プールとかウエイトトレーニング場、グラウンドなどを市に整備していただき、大学側がウエイトトレーニング場ならバーベルとかプレートなどの道具を管理して、そこで僕たちが練習しつつ、市民の方々にも無料とか少しずつお金をいただいて、僕たちが市民のトレーニングをサポートするような形でやっていければと思う。
- ・市民と一緒にやっていってスポーツの魅力を伝えていければ良いのではないかな。また、参加者が自分の子どもたちにも伝えれば、競技人口も増えるし、健康管理にも繋がると思う。
- ・作った会場でスポーツイベントを開催することも大切だと思う。スポーツの魅力をしっかり市民とかいろんな人に伝える機会になる。市の魅力向上にもつながる。
- ・こういう交流が、市民の健康増進に繋がって、健康寿命を延ばしていくことにつながる。



- ・スポーツ施設が充実し、スポーツが盛んなまちになることで、魅力ある子育てしたいと思うまちになると思う。

### ■3グループ

#### 【テーマ:①子どもが健やかに育つ環境整備 ②スポーツを「する」「みる」「支える」環境の充実】

- ・安心して子どもを預けられる幼児教育・保育環境の整備は必要で、そのためには、教員や保育士などが働く環境づくりが大切だと思う。
- ・保育士不足なので保育士を増やすことや、子どもの命を預かるといった大事な仕事なので、給料を増やすなど、働きやすい環境をつくるのが大切である。
- ・学校の教員については、クラブ活動の指導者に外部から来てもらうようにするなどにより先生の仕事を削減し、子どもたちに向き合える時間をとることで、子どもたちにとってよりよい学びができるようになると思う。
- ・地元に遊ぶところが少なかったため、それよりは充実しているが、大学周辺に遊ぶ施設など、若者が集まれる施設があれば良い。

### ■4グループ

#### 【テーマ:①子どもが健やかに育つ環境整備 ②多様性を認め合う共生社会の実現】

- ・共働きが増えており、子どもを預けられる施設が必要。
- ・子どもたちが自然などと触れ合える公園、公共施設が少ない。
- ・高校大学の学費負担を軽減して欲しい。
- ・U I ターンに繋がるよう、奨学金返還免除などの支援が必要。
- ・学生同士が気軽に会話できる、W i - f i 環境がない。交流スペースが欲しい。
- ・I C T を小学校でも活用しているが、子どもたちにも大人と同じように使い方・注意点を教える必要がある。
- ・留学生や女性が多い大学なので、学内には女性用化粧室など配慮したスペースがあるが、公共施設などでは十分ではない。
- ・多文化、外国の文化を理解する方法として、リクリエーションなどでの交流が必要。特に、料理は「おいしい」でつながり、文化・食材・食べ方などが分かり理解に繋がる。
- ・小中学校で外国に関する授業とともに、外国の料理を給食で出すことも必要。
- ・外国から来た人にとって、切符の買い方が分かりにくい。
- ・外国の人に直接意見を聞く機会を設けて欲しい。
- ・候補者のことがよくわからないため、無責任に投票することはためられるので、投票に行かなかった。
- ・学生世代に関する政策の訴えが少ない。
- ・学内で投票が出来れば選挙に行くかもしれないが、誰を選べばいいか難しい。
- ・公約などは、はっきりとメリット、デメリットを示してほしい。
- ・今回はじめて議員と接する機会を得た。

## ■5グループ

### 【テーマ:①教育・学びの場の充実 ②スポーツを「する」「みる」「支える」環境の充実】

- ・桑名市の小学校では、苦手科目を別室で教える制度（補講）がある。授業についていけない児童を無くす取り組みとして鈴鹿市でも参考にしてほしい。
- ・池田市は教育日本一をめざしており、小中一貫校ではない新たな小中義務教育学校に取り組み成果をあげている。特に英語は進んだ取組をしており鈴鹿市も参考にしてほしい。
- ・大学生の奨学金免除など、鈴鹿市で働くことを誘導する施策を創設してほしい。
- ・街角や駅前などのフリーW i - f i の設置など、若者が気軽に集えるフリースペースを作してほしい。勉強などもフリースペースでできればありがたい。
- ・公共スポーツ施設の外部トイレが汚いため利用を躊躇する。（石垣池運動公園など）
- ・市内の公共のスポーツ施設を利用したことがない。利用方法もわからない上、鈴鹿市公共施設予約システムなど存在自体知らない。若者にもっとPRすべきである。
- ・桑名市に住んでいるが、街中が一生懸命サッカーのヴィアンテン三重を応援していることがわかる。鈴鹿では、駅前でラグビーのヒートのポスターをみかけるが、それ以外で見たことがない。桑名では、公共施設だけでなく、民家やお店にまでヴィアンテン三重のポスターを至る所でみかける。
- ・スポーツ好きな市民は「スポーツ n a v i」などのニュースを良く見るが、ラグビーホンダヒートのニュースは、そのサイトでみかけない。行政も連携して公共手段だけでなく、民間サイトを活用して情報を発信するべきでないか。大学ラグビーの方がよほど情報提供されている。参考にしたらどうか。例えば、ヒートの選手が小学校を訪問しているが、そのような情報がネットニュースで流れない。市を上げて盛り上げているようには感じない。
- ・モータースポーツの町といわれるが、他県から住んでみて、市民は盛り上がっていないように感じる。（モータースポーツへの市民の共感度・理解度が少ないと思う）

## ■6グループ

### 【テーマ:①消防・救急体制の充実 ②交通環境や都市機能が整備された暮らしやすいまちづくり】

- ・松阪市では、救急搬送された患者の方が「入院が必要ない」と判断された場合、選定療養費として「7,700円」を徴収している。しかし、鈴鹿市ではこのような制度を導入しないことを強く望む。鈴鹿市の住民にとって、救急医療は迅速かつ負担の少ないものであるべき。選定療養費の徴収は、患者やその家族にとって経済的な負担となり、救急医療の利用をためらわせる可能性がある。鈴鹿市は、住民の健康と安全を最優先に考え、負担の少ない医療体制を維持することを期待する。
- ・白子駅から白子キャンパスまではバスが運行されているが、千代崎駅から千代崎キャンパスまではバスの運行がない。バスがあると非常にありがたい。また、徒歩では街灯も少ないため、夜間の通行が危険。さらに、道幅が狭く歩道もないため、スピードを出した車が通ると非常に危険を感じる。

- ・鈴鹿医療大学には3,000人弱の学生が通学しており、車通勤も可能だが、遠方から通学している学生も多い。そのため、千代崎駅に急行が停車するようになると、より多くの学生にとって利便性が向上し、通学がより安全で快適になると思う。
- ・電車やバスの本数が少ないため、公共交通の充実を求める。また、バス停もわかりにくい。さらに、歩道がないバス停や草などが生えているバス停もあり、危険やわかりにくい箇所が多く存在する。
- ・国道23号から中勢バイパス（名古屋から鈴鹿）への合流がわかりにくく、事故が発生しかねない状況のため、わかりやすい看板の設置などの対応を望む。
- ・玉垣小学校付近の国道23号への抜け道として伊勢街道を利用する車が多く、伊勢街道は道が狭く、また、合流地点では急に飛び出す車もあり、危険性が高い。
- ・自転車の運転時、歩道の段差が高く危険があり、車道も狭くて危なく運転できない。このため、自転車専用道路の設置を希望する。
- ・中央道路の南側、三日市町の田んぼ道（中央道路と垂直に交わる道）は暗く、道幅が狭いため、過去から中学生の事故が多く発生しており、非常に危険。このような状況を踏まえ、早急な対応を強く望む。
- ・他県（沖縄）から来ているため、南海トラフ地震などの災害に関する情報が不足しており、特に地震発生時の避難場所や避難経路、緊急連絡先などの情報がなく困っている。災害時に迅速かつ適切な対応ができるよう、他県からの住民にも分かりやすい情報提供を望む。
- ・公共交通機関で利用できるカラオケ、飲食店、ボウリングなどの商業施設の推進。
- ・学校のゼミでeモータースポーツイベントを知り、参加し、とても楽しめた。イベントの拡大（回数・規模）と開催の情報発信を強化してほしい。
- ・Z世代の情報収集はインスタグラムが主流であるため、インスタグラムの活用をもっと進めるべき。
- ・学校の研修時に様々なワクチンの接種が必要だが、補助などがあると非常に助かる。

## ■7グループ

### 【テーマ:①教育・学びの場の充実 ②地域づくり・コミュニティ活動への参画】

- ・教員不足、保育士が減っている、足りないということで、給与アップなどの働き方の見直しが必要ではないか。
- ・教育の観点から、大学生や高校生が小・中学生と関わる機会を多くつくるなど、若い世代が関わりあえる機会が多いまちづくりや、若い世代が住みやすいまちづくりをしてほしい。
- ・多様な教育という点で、留学生が外国にルーツを持つ児童の支援ができる環境づくりや、コミュニケーションをとるのが苦手な子どもたちが、みんなと仲良く遊べる環境づくりが必要ではないか。
- ・地域づくりの観点として、楽しく安心して過ごせるまちになるよう、夜間に安心して歩



けるように街路灯や防犯カメラを設置したり、楽しく歩けたりする公園の整備などをしてはどうか。

- ・モータースポーツだけでなく、熱気球や他の魅力を発信してほしい。
- ・サーキットのイベント開催時の渋滞発生を解消できないか。
- ・子どもと親の支援の観点から、困難を抱えている状況であっても親子それぞれが目標や夢を持てること、語ることができる環境づくりが必要。
- ・待機児童や困難を抱えた子どもが取り残されないまちになれば良い。

## ■8グループ

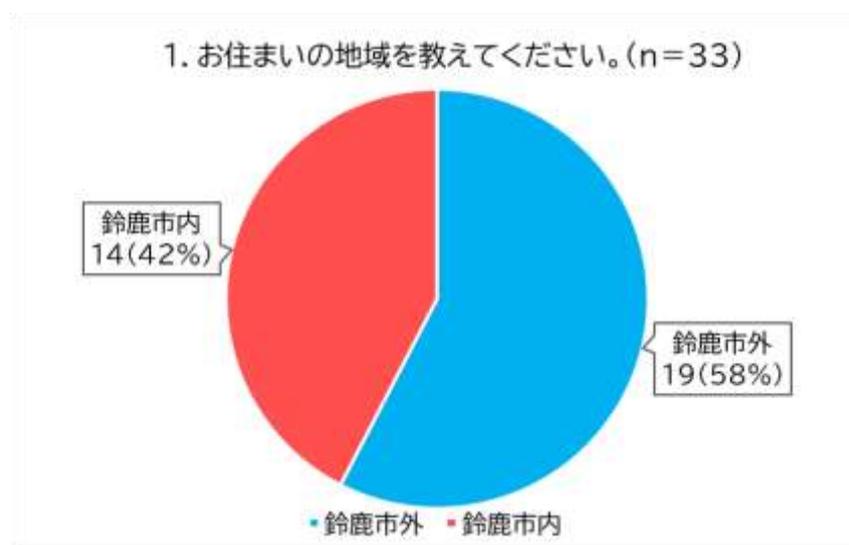
【テーマ:①災害から命や財産を守る取り組み ②地域づくり・コミュニティ活動への参画】

- ・防災に関して、様々な消防設備の拡充、わかりやすい減災・防災情報を発信する、アレルギー対策がされた備蓄の充実は必要。
- ・地域づくりについては、若者がどういうふうに参加していけば良いのかわからない。
- ・地域によっては、高齢者は参加するものの、若者は参加が少ないので、その点、どのように考えていけばよいのか。
- ・防災と地域づくりは密接な関係がある。その地域の繋がりをどういうふうに深めていくかを考えたときに、やはり世代間の交流、世代を超えた交流が必要になってくると思う。そこにどういうふうに鈴鹿市が協力していくのか、協力してほしいのか。
- ・市には、様々な啓発活動をしてほしい。避難先の指定やハザードマップの配布、地域で回っている回覧版に関しては、従来のものもまわしつつ、若者などは専用のサイトやアプリの活用などがあれば良い。
- ・その啓発活動などに関しても、若者がどういうふうに参加していくか、どういうふうに来てもらうかということが今後の課題になってくるのではないか。

## 8 実施後アンケートの結果について

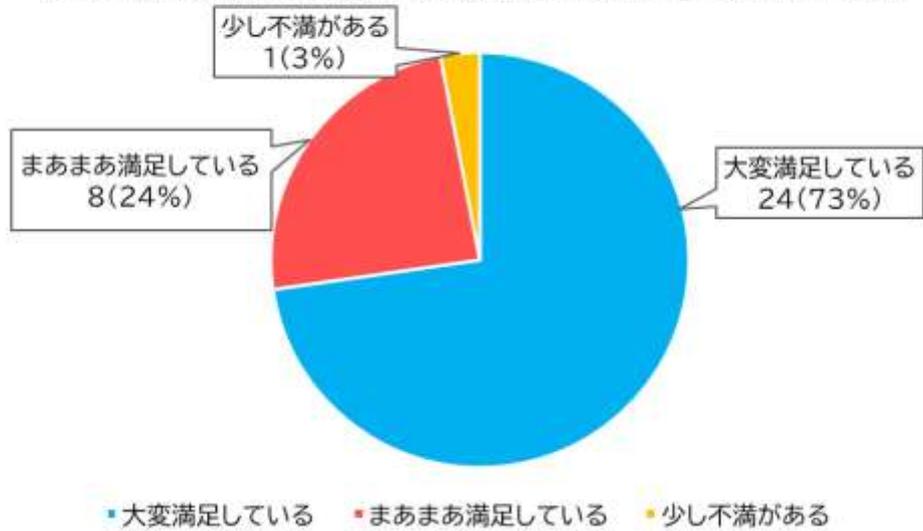
【回答者33人 / 参加者40人 回答率:82.5%】

### ■設問1



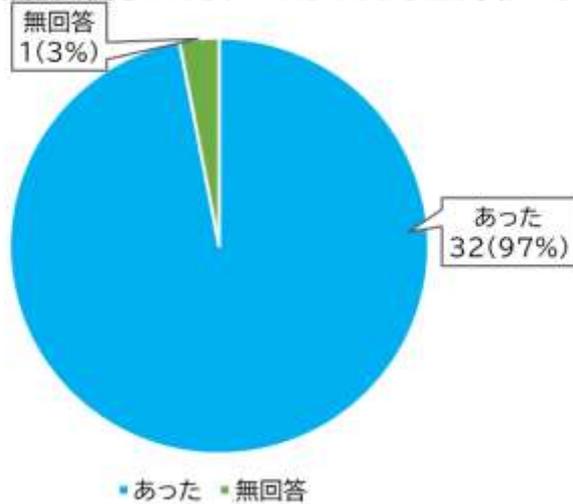
■設問2

2. 本日の議会報告会に参加したご感想をお聞かせください。(n=33)



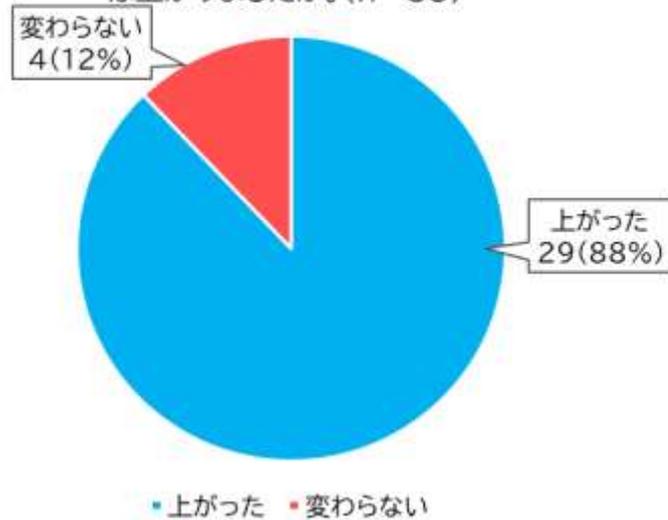
■設問3

3. 本日の議会報告会で関心のあるテーマはありましたか。(n=33)



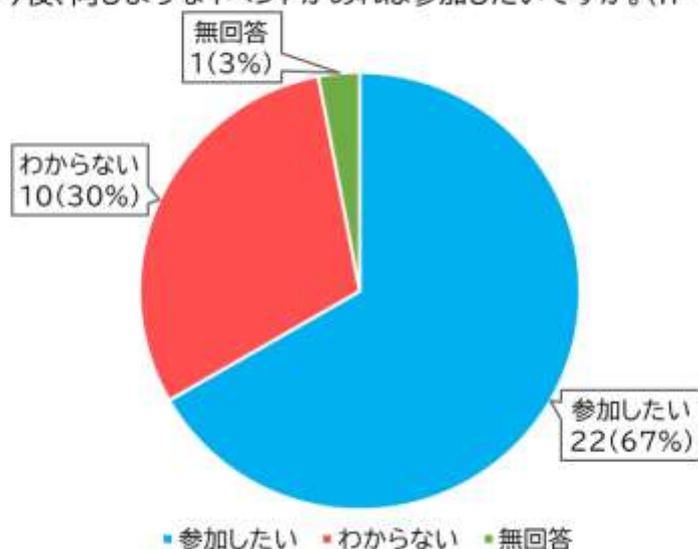
■設問4

4. 本日の議会報告会に参加して、鈴鹿市や鈴鹿市議会への関心は上がりましたか。(n=33)



## ■設問5

5. 今後、同じようなイベントがあれば参加したいですか。(n=33)



## ■設問6

本日の議会報告会に参加したご感想をお聞かせください。また、本日のワークショップで発言できなかったご意見・ご提案やグループで議論したテーマ以外で関心があることについてお聞かせください。(24人から回答)

- ・知らなかったこと、様々な意見がきけて楽しかったです。
- ・色々な意見を聞いて楽しかったです。
- ・日頃考えていた鈴鹿市への考えをこういった機会でお伝えすることができて良かったです。私と同じ意見をもっている方と出会えたの。
- ・小児医療の改善について様々な意見があり、関心が深まりました。
- ・鈴鹿市の知らないことが知れた。
- ・議員さんや議会について関心が高まりました。
- ・思っているより自由度はなかった。鈴鹿サーキット以外の的になる物を作ってほしい。遊びという物において少なく行きにくい。四日市や津に行ってしまうがち。サブカルチャー文化についてももう少し発展すると若い人は確実に増える。
- ・様々な地域の出身の人が、将来の夢と関連させ、議論できてよかったと思いました。色々な方の話を聴き、私も夢に向けて頑張ろうと改めて思うことができ、良い機会になりました。
- ・鈴鹿についてまだまだ知らないことが多いと感じました。
- ・スポーツガーデンの自動販売機が、スポーツ飲料水が多いため観客が飲むのが少ない。
- ・あまり話すことのできない議員の方々と話し合いができアドバイスなどもしていただけたのでとてもよかった。
- ・様々な意見が聞いてよかった。鈴鹿市の現状や、便利なことがあったりわかった。この意見が通ってくれたらうれしいです。
- ・他県から来た人達が鈴鹿に来て良かったと思えるように環境整備をすることが必要だと思う。

- ・ゴミの分別について。(外国人が多いのに、ゴミの分別がとてもきびしく、ぜんぜん守られていない。ゴミの分別が難しいために、分別ができず、回収されない→環境がどんどん悪くなるといった悪い循環におちいつている。)
- ・子育てとかではなく大学生に寄り添ったテーマにするべきかと思った。
- ・この機会があったからこそ、今まで関われなかった方、世代の方と話せたので、とても良かったです。考えて発言することも大切だと感じました。
- ・鈴鹿市内での取り組みで聞きたかったことを聞けて、安心できる返答があり良かった。また、若者の意見をないがしろにするのではなく、真剣に聞いてくださったことがとても良かったです。
- ・同じテーマをえらんだ人と意見を共有できたのでよかったです
- ・子育てにやさしい地域社会づくり
- ・子ども条例の制定時期の問題（県の子ども計画、子ども条例をふまえた方がいいのではないか？）
- ・外国の方の小児虐待や死亡例など
- ・市立幼稚園、時間の短さ
- ・鈴鹿市や現在の状況の課題を話し合えたことで知ることがたくさんあり、とても良かったです。
- ・色々な話し合いをして、同じ課題が出たり、それに対する様々な対策案が出たのでよかったですと思います。
- ・思っていた以上に、質の高い議論になり、他の人の意見を聞いて、自分では思いつかない意見、考え方がありとても良かった。
- ・自転車専用レーンを増やしてほしい。安心して走れない。

## ■設問7

鈴鹿市又は鈴鹿市議会に対してご意見があれば、お聞かせください。(9人から回答)

- ・具体的にできること、できないこと、手の届けられるところ、届けられないことを的確にしてまとめてほしい。その他、YouTubeやTikTokなどの広告をもう少し利用していくことで広まりが強くなると思います。
- ・今日は、ありがとうございました。
- ・運動環境の向上
- ・少子高齢化が進む中、大変だと思うが若者の声をきいてほしい。
- ・県外から来た大学生が多い中で、みなさん今後県外にもどりたいという意見でした。危機的だと思います。
- ・LIVE会場などを作ってほしい。
- ・特にない。市のためにがんばってください。
- ・お金や時間など限りがあると思いますが、今日出た意見を確認し、実現していただければと思います。





■グループ発表

